

授業科目 保健医療福祉行政論

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	看護
鈴木 昭		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【概要・一般目標：G10】 地域保健福祉活動を実践する上で不可欠な知識として、保健医療福祉行政の仕組みや制度の変遷とその内容について具体的に理解する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. わが国の保健医療福祉制度の概要・歴史について述べる事が出来る。 2. 保健医療福祉行政の仕組みについて概説する事が出来る。 3. 地域保健福祉活動の仕組みを理解し、保健師活動と結びつけて説明する事が出来る。 4. 地域保健医療福祉計画の変遷と策定手法について、説明することができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	保健医療福祉行政の根拠とめざすもの			1	講義、担当：鈴木 昭
2	我が国における保健医療福祉行政の変遷			1	講義、担当：鈴木 昭
3	社会保障と保健医療福祉行政の仕組み			2	講義、演習、担当：鈴木 昭
4	地域保健医療福祉行政の体系と地域ケアシステム1（高齢者）			3	講義、演習、担当：鈴木 昭
5	地域保健医療福祉行政の体系と地域ケアシステム2（障害者）			3	講義、演習、担当：鈴木 昭
6	地域保健医療福祉行政の体系と地域ケアシステム31（子どもと家庭）			3	講義、演習、担当：鈴木 昭
7	地域保健医療福祉行政の体系と地域ケアシステム3（低所得者）			3	講義、演習、担当：鈴木 昭
8	地域保健医療福祉計画の変遷と策定手法			4	講義、担当：鈴木 昭
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		『保健医療福祉行政論』平成21年版 厚 藤内 修二（著者代表）厚 医学書院 生労働白書			2008・2,940円
その他の資料					
【評価方法】 レポート80%、出席点・演習態度20%により評価する。			【履修上の留意点】 参考図書の外、新聞、インターネット等の媒体を活用すること		